

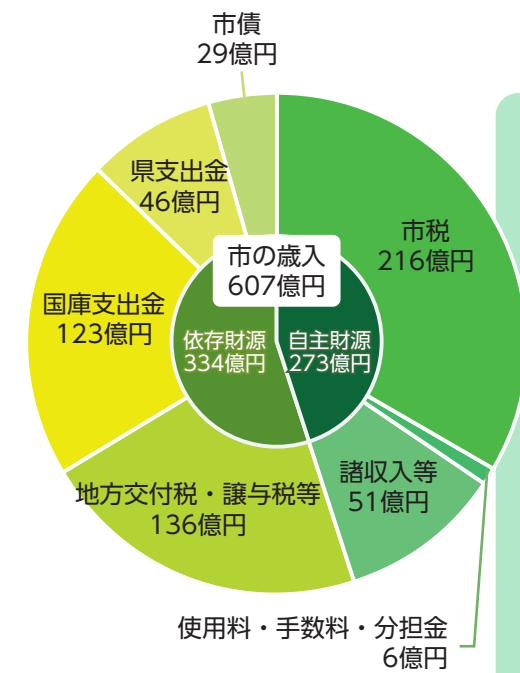
どんな収入があったの？

令和6年度決算に基づく こが家の

家・計・簿

どんな支出があったの？

令和6年4月～令和7年3月の月平均額



給与収入が減ってしまった。少しでも収入が増えるよう考えないと…



市民1人当たりの貯金が増えました。災害などの緊急時の備えとして必要なものですね



こが家の家族

- 【家族(4人)の構成】
- ・毎日忙しく働くお父さんとお母さん
 - ・1人暮らしをしている大学生のお姉ちゃん
 - ・市内の小学校に楽しく通う僕

市税

市民の皆さんに納めていただいた税金(市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税等)

分担金・負担金

市のサービス等を受ける人たちが負担したお金(保育料等)

使用料・手数料

市営施設の使用料や住民票の写しの交付手数料等

繰入金

市の基金から引き出したお金

繰越金

前年度に残ったお金

譲与税・交付金

国税・県税のうち市の分として譲与・交付されたお金

地方交付税

国税のうち市の分として交付されたお金

国庫支出金

国と市が共同で行う事業のために国が市に支出したお金

県支出金

県が市に対して支出したお金

諸収入

延滞金、預金利子、貸付金元利収入、雑入等

市債

市が国や銀行から借りたお金

収入

(前年度との比較)

給与 396,600円 (−5,900円)

基本給 181,600円 (−6,200円)

諸手当 215,000円 (+300円)

貸したお金の返済金 300円 (−400円)

銀行からの借入れ 19,100円 (+6,300円)

収入合計 416,000円

市民1人当たりの貯金残高*

81,700円 (+7,700円)

※令和7年4月1日現在の住民基本台帳の人口(139,451人)を基に算出。

支出

(前年度との比較)

生活費 251,600円 (+9,200円)

食費 52,800円 (+1,300円)

光熱費や通信費 59,100円 (+200円)

家・車・家電の修理費 30,900円 (+5,800円)

家族の医療費 108,800円 (+1,900円)

家族への仕送り 96,800円 (−3,100円)

ローンの返済 34,700円 (−5,800円)

貯金 12,000円 (−200円)

支出合計 395,100円 (+100円)

差額(収入−支出) 20,900円 (−100円)

市民1人当たりのローン残高*

296,000円 (−12,000円)

人件費

市職員の給料や議員報酬等

物件費

光熱水費、消耗品費、業務委託料等

維持補修費

道路・公共施設を維持するために使ったお金

普通建設事業費

公共施設の新築や改修に使ったお金

扶助費

生活保護、障がい者支援、医療費助成等、福祉に使ったお金

補助費等

補償費、負担金、補助金等

繰出金

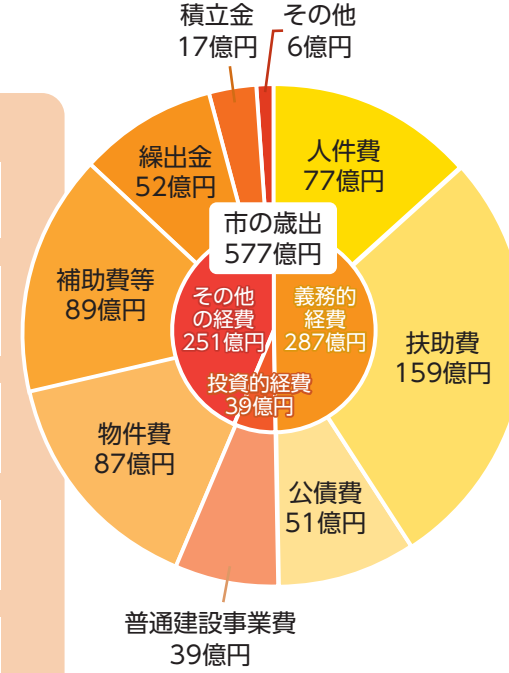
介護保険や後期高齢者医療等、他の会計への繰出金

公債費

市債の元金・利子や一時借入金の利子

積立金

将来に備えて積み立てたお金



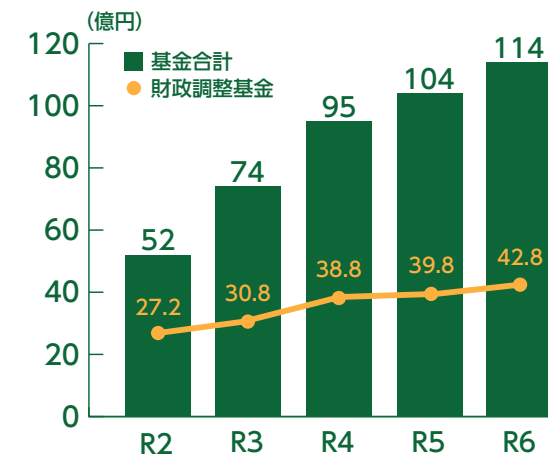
昨年同様、家・車・家電の修理費が増えているわね。これからも増えそうだから切り詰めるところを考えないといけなないなあ…



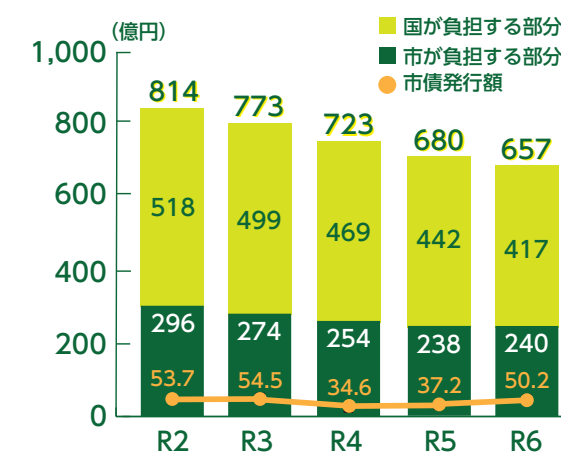
市民1人当たりのローン残高は前年度よりも減っていますね！



基金(貯金)残高



借入金(借金)残高 (特別会計・企業会計を含む)



特別会計

特別会計(6会計)決算額を合計すると、歳入が291億9,816万1千円で前年度と比べて15億141万4千円(4.9%)の減少となり、歳出が288億4,112万1千円で前年度と比べて16億2,860万1千円(5.3%)の減少となりました。

会計名	歳入(A)	歳出(B)	差引額(A-B)
国民健康保険特別会計(事業勘定)	138億3,536万5千円	137億5,971万6千円	7,564万9千円
古河福祉の森診療所特別会計	1億951万円	1億850万9千円	100万1千円
後期高齢者医療特別会計	20億9,135万2千円	20億9,075万2千円	60万円
介護保険特別会計(保険事業勘定)	117億8,600万5千円	115億7,518万9千円	2億1,081万6千円
ゴルフ場事業特別会計	9,556万1千円	8,840万9千円	715万2千円
古河駅東部土地区画整理事業特別会計	12億8,036万8千円	12億1,854万6千円	6,182万2千円
合計	291億9,816万1千円	288億4,112万1千円	3億5,704万円

企業会計

上下水道事業は法律で「地方公営企業」と位置付けされており、事業に必要な経費は、原則として水道料金や下水道使用料などの収入で賄う「独立採算の原則」に基づき運営されています。

会計名	収支(消費税込)	収入(A)	支出(B)	差引額(A-B)
水道事業会計	収益的	26億9,730万5千円	23億107万5千円	3億9,623万円
	資本的	13億7,852万9千円	22億2,298万8千円	△8億4,445万9千円
下水道事業会計	収益的	39億3,264万円	38億6,271万7千円	6,992万3千円
	資本的	13億2,693万1千円	23億2,819万1千円	△10億126万円

【問】 水道課(三和浄水場)Tel76-3780、㊟下水道課Tel76-1511

事業評価を実施しました

令和6年度に行った市の事業を対象に事業評価を実施しました。事業評価とは、事業の目的や効果の達成状況を基に指標を設定して評価を行うものです。

評価結果は市ホームページおよび㊟企画課で閲覧できます。

【問】 ㊟企画課Tel92-3111



実質赤字比率

一般会計等の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです

連結実質赤字比率

全会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです

将来負担比率

一般会計等が抱える実質的な負債の残額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです

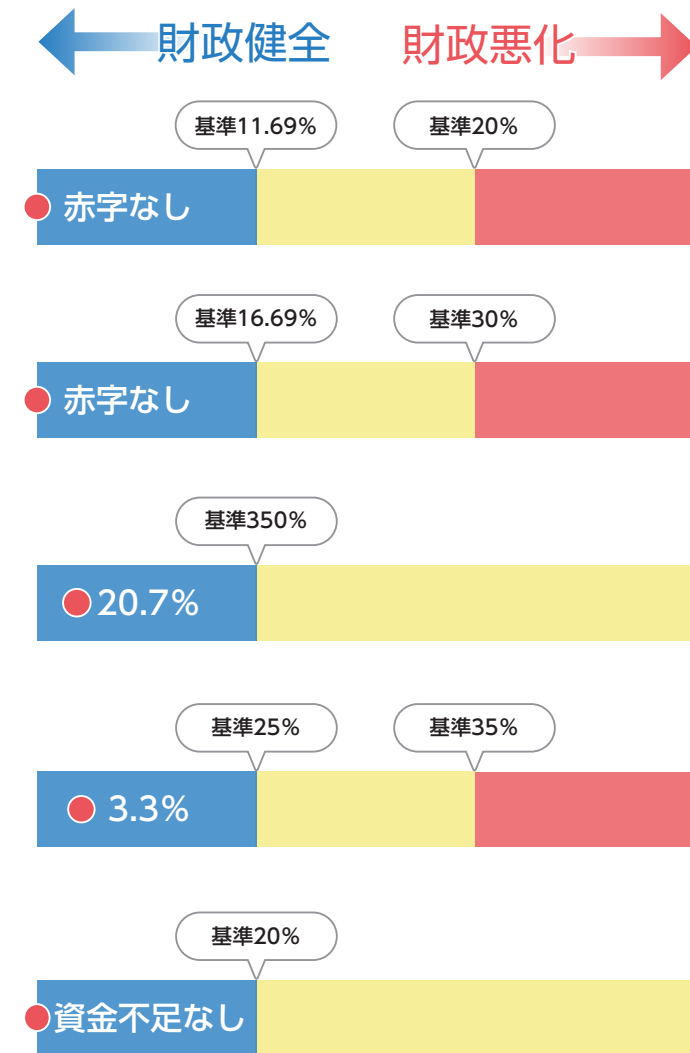
実質公債費比率

一般会計等の実質的な借入金の返済額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです

資金不足比率

各公営企業会計の資金不足額が、料金収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです

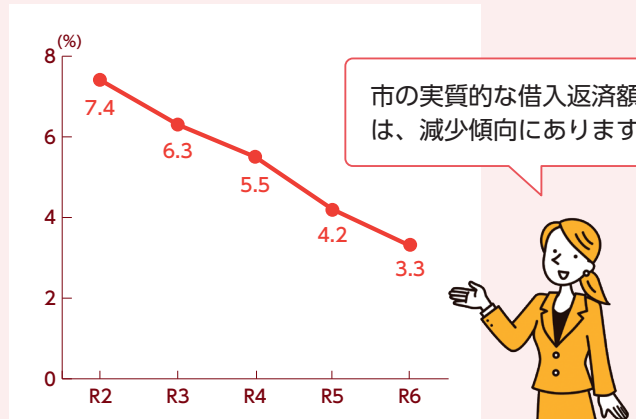
●市の現状値 ■健全 □早期健全化団体 ■財政再生団体



令和6年度決算に基づく現状値

市の財政状況を表す現状値は、全て国の基準で「健全」とされる範囲内です。今後も将来にわたって持続可能な財政運営を図っていきます。

実質公債費比率



将来負担比率

